

先導的人文学・社会科学研究推進事業プロジェクト  
「観客と共創する芸術—光・音・身体の共振の社会的・芸術的・工学的研究」

# 日本的演劇空間とは何か

江戸時代の歌舞伎劇場をひとつの演劇空間としてとらえ、建物や舞台装置が演技・演出や観客に及ぼした影響について検討し、そして西洋演劇の起源であるローマ演劇の劇場との比較対照、明治期以降、日本での演劇空間がどのように変化したかについて言及する。



【挨拶】12:00～12:15

伊藤修 (埼玉大学大学院人文社会科学研究科長)  
山崎敬一 (埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授)  
司会者: 外山紀久子 (埼玉大学大学院人文社会科学研究科・教授)

【第1部】12:15～14:00

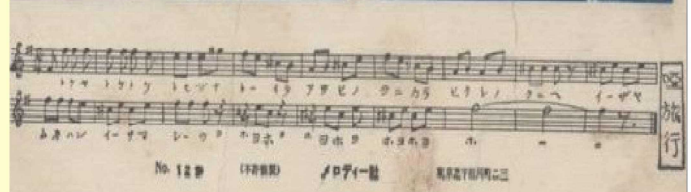
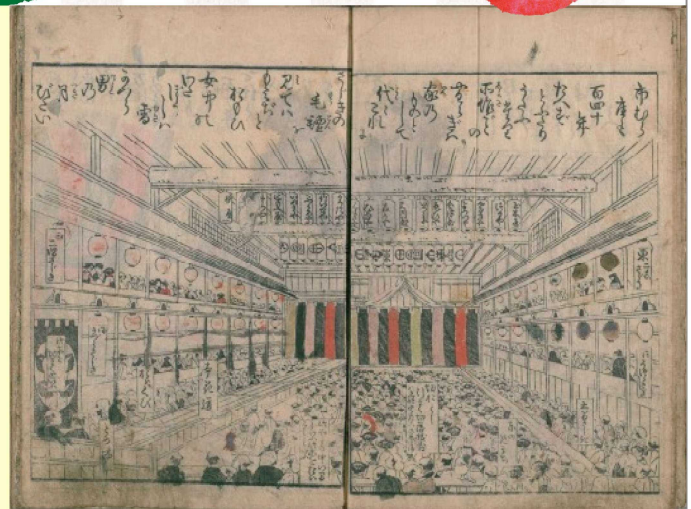
賀古唯義 (文化財建造物修理上級主任・1級建築士)  
「近世芝居小屋における建築構造の変遷  
—建築の変化が演劇に影響をおよぼした可能性について—」  
ビュールク・トーヴェ (埼玉大学人文社会科学研究科・准教授)  
「江戸歌舞伎の舞台装置の発展と観客層」  
武井協三 (国文学研究資料館・名誉教授)  
「江戸の演劇空間—芝居小屋と大名屋敷—」

【第2部】14:30～15:45

Pierre Letessier (Université Sorbonne-Nouvelle・准教授)  
「ローマ演劇の劇場: 公的、対面的かつ音楽的空間」  
杉山千鶴 (早稲田大学スポーツ科学学術院・教授)  
「共振する空間—浅草オペラの興行—」

【ディスカッション】16:00～17:00

司会者: 日置貴之 (白百合女子大学文学部・准教授)  
参加者: 池田佳子 (関西大学・国際部教授) ・ 加藤有希子  
(埼玉大学・基盤教育研究センター・准教授)



時間: 2018年3月10日(土)

場所: 東京芸術劇場大会議室

JR池袋駅西口より徒歩2分



## —日本の演劇空間とは何か—

### 【本プロジェクトについて】

日本の文化の伝統に導かれた光と音と身体との共振によって、演者と観客が共創する新しい芸術空間の創造と実践的研究を行う。また、人々の「共同的愉悅の価値」を、文理融合の研究者によって共同で研究しようという試みである。さらに、情報工学の共同研究によって、新しい人文・社会科学の領域を開拓する。

### 【本シンポジウムの意義】

江戸時代の歌舞伎劇場を中心に、建物や舞台構造の発展について、また劇場における演者と観客の関係性などについて検討する。さらに、西洋演劇の起源であるローマ演劇の劇場との比較対照、明治期以降、日本での演劇空間がどのように変化したかについて言及する。これらの議論によって、共通する関心をもとに形成される場として18世紀頃欧州に誕生した「公共圏」の日本での始まりが歌舞伎劇場であったと位置付ける。

■発表者: 賀古唯義 (文化財建造物修理上級主任・1級建築士)  
公益財団法人文化財建造物保存技術協会所属。1級建築士、文化財建造物修理上級主任技術者。古建築修復の専門家で、重要文化財「八千代座」(熊本県)を担当した縁で芝居小屋建築に興味を持つ。現在は江戸時代の芝居小屋建築史を研究している。



■発表者: トーヴェ・ビュールク (埼玉大学人文社会科学部研究科・准教授)  
フィンランド・パルガス生まれ。2014年、立教大学大学院博士後期課程修了、博士(文学)。江戸中期の歌舞伎役者二代目市川團十郎の日記を中心に江戸の歌舞伎劇場の経営状況や茶屋との関係、観客の変遷や演出の変化について研究している。



■発表者: 武井協三 (国文学研究資料館・名誉教授)  
京都生まれ。1971年早稲田大学演劇学科卒、74年同大学院演劇専攻修士課程修了。園田学園女子大学講師、助教授、国文学研究資料館教授、総合研究大学院大学教授(併任)。国文学研究資料館名誉教授。その間にロンドン大学客員教授。博士(文学)。著書『歌舞伎はいかなる演劇か』(八木書店、2017年)など。



■発表者: ルテシエ・ピエール (Université Sorbonne-Nouvelle・准教授)  
古典文学の専門家。また、演劇研究所の所長を勤めている。研究内容は、人類学的かつ演出的な観点からローマの演劇の影響(『ローマの演劇』、Colin出版社、2017年(初版2011年)フローレンス・デュボン(Florence Dupont)と共著。



■発表者: 杉山千鶴 (早稲田大学スポーツ科学学術院・教授)  
埼玉県生まれ。1985年早稲田大学第一文学部日本史学専修卒業、1989年お茶の水女子大学大学院舞踊教育学専攻終了。1983~2008年藤井公・利子主宰東京創作舞踊団所属。近代日本洋舞史(帝劇オペラ、浅草オペラ、浅草レビューの舞踊と舞踊家)、舞踊集団のエスノグラフィーを研究中。



■司会者: 外山紀久子 (埼玉大学大学院人文社会科学部研究科・教授)  
埼玉大学人文社会科学部研究科教授(美学・芸術論)。東京大学大学院在学時、ニューヨーク大学大学院(パフォーマンス研究&美術研究所)に留学。文学博士(東京大学)。

■ディスカッション司会者: 日置貴之 (白百合女子大学文学部国語国文学科・准教授)  
東京都生まれ。早稲田大学第一文学部卒業、東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士(文学)。江戸時代末期から明治時代を中心に歌舞伎を研究している。著書『変貌する時代のなかの歌舞伎 幕末・明治期歌舞伎史』(笠間書院、2016年)など。

■参加者:  
池田佳子 (関西大学・国際部教授)  
加藤有希子 (埼玉大学・基盤教育研究センター・准教授)